

活動を終えるにあたり

(林隊員)

はじめに



大館市の皆さま、
林 孝行さん こんにちは!! 地域
孝行 おこし協力隊の林
孝行です。
林 早いもので、大葛
に移り住んで、もう

3年。今年の12月末で協力隊も任期終了です。

3年間活動できたのも、地域の皆さまのおかげです!

たくさんさんのイベント、地域行事にも参加させていただきました。

今回は、3年間の地域おこし協力隊としての活動の締めくくりとして、2年目からの大葛での活動を振り返り、皆さんにご紹介したいと思います。

初花月

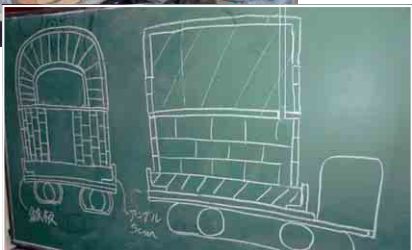
1年目に青森の干し餅自慢大会で見事入賞を果たしたこの初花月。もともと作り手が1人しかいなかったこの干し餅も、今では「初花月の会」として、その時期には森越集落のみならず



などで作られています。冬の間にみんなが集まり、地域の人たちが交流する場所が生まれた。利益よりも、そんな「地域の和」を大切にしています。手間ひまが掛かるため少量しか作れませんが、今年の通りの市でも販売されました。今後、初花月がその製法とともに地域の伝統として続いていくことを願っています。

ピザ窯づくり

「ピザ窯をつくろう」という話が初めて出たのは2012年お正月の酒の席。そして1月中旬に話し合いが行われ、その時にはイメージ図まで描かれました。



試食会での記念写真♪
最初に動いた時の感動は今でも忘れません。

そして試行錯誤の末、6月に完成したのが、新聞やテレビでも話題になった移動式ピザ窯「竜チャン」です!

もちろん動くピザ窯作りなんてみんな初めてでしたが、設計から施工まで、長部のみんなでやり遂げました。完成まで近くで見させていただきましたが、色んな所に主役がいました。完成後、お母様方が作った熱々のピザはとつても「んめがった」です。

このピザ窯「竜チャン」は、今では大葛のイベントになくはならない存在となりました。

徳島県勝浦町との交流

協力隊員同士のお土産品の交換から始まったこの縁ですが、今年なんと、とりの市にみかんや特産品の販売に来てくれました。

1日目は吹雪で大変でしたが、2日目には全てみかんが売れました。勝浦

町の協力隊には、初花月のデザインを作っていたり、赤い花のソバを頂いたりとお世話になっていきます。恩返しもしねばなりません!せっかくの縁、今後も大事にしていきたいです!



青若会の活動

今の大葛の地域おこしを語るうえで、なくてはならないのが大葛地区青若会です。

青若会とは、大葛の七集落の青年団が集まった組織で、盆踊りを主催したり地域の行事に協力したりと様々な活動を精力的に行っています。ここ最近では活動の幅も広がり、目覚ましい活躍を見せています。皆、仕事を持っている中で、地域のイベントに積極的に参加し新たな企画に挑戦する。

挑戦する。こういった若者が多いのは、大葛の良さだと



青若会の皆さん